０４九ハ協発第１１号
令和５年１月１３日

関係各位

九州ハンドボール協会
会長　中 園 嘉 彦

「令和４年度　第５１回 九州高等学校ハンドボール選抜大会」
における入場および観戦の制限について（お知らせ）

新春の候　皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より、本協会の事業につきましては、格別のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、標記大会の開催に向けて開催地（会場地）の佐賀県ハンドボール協会・高体連専門部をはじめ、行政・施設・医療関係などの各機関と感染予防対策を施した運営方法について協議を重ねて参りました。
現在、九州各県でも新型コロナウイルス感染症が、第８波として再拡大し、九州には、「医療非常事態宣言」が発令されている自治体もあることから、最大限の感染防止対策が求められながら大会を迎えようとしています。
本協会は、九州各県から参加されます役員・選手の皆様が、安心・安全な環境下でパフォーマンスを発揮する環境づくりが最大の責務と考えます。
今大会の会場には、観客席数が少なく三密回避が困難な学校施設・企業施設があり、感染拡大防止の観点だけでなく、大会に関わる全ての方々の健康と安全を第一に考え、学校関係者・保護者（ご家族）・一般ファンの皆様には、誠に申し訳ございませんが、今大会については、下記の通り「無観客および制限つき有観客」での運営といたします。
九州各県でも感染が拡大化する状況が継続していますので、皆様には、趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

１　競技第１日・競技第２日（２月４日～５日）は、「完全無観客」とし、競技会場の（体育館）入館は、今大会に登録されたチーム役員・選手・競技役員・補助員・報道関係者・指定業者（旅行代理店・弁当納品等）・今大会の大会役員となる各県ハンドボール協会の役員（会長・理事長・専門委員長など）のみとする。
登録外のチーム関係者については、荷物管理・自チーム試合の撮影・試合準備の業務などの必要な範囲内で若干名の入館を認める。

２　競技最終日（２月６日）は、「制限つき有観客」とし、上記１の者に加え、所定の手続きの上、試合を行う各チームの登録外関係者２０名以内の入館を認める。

以上